

北陸圏広域地方計画イメージ (参考資料)

平成20年5月
国土交通省北陸地方整備局
北陸圏広域地方計画推進室

資料目次

概要

1. 北陸圏広域地方計画に係る取りまとめイメージについて	1
2. 北陸圏の現状と課題	2
3. 北陸圏の将来像	3
4. 新しい将来像実現に向けた戦略目標	4
5. 広域連携プロジェクト	5

参考図表

2. 北陸圏の現状と課題	
(1) 雪や地震など厳しい自然災害への備え	6
(2) 美しい自然環境・地球環境の保全への対応	7
(3) 接続する都市と自然豊かな農山漁村との融合が生み出す魅力の活用	8
(4) 日本海側有数の人口・産業・経済等の集積の活用	9
(5) 食料を供給し食文化を育む農林水産業の活性化	10
(6) 日本海に面し、三大都市圏から等距離にある地理的優位性の活用	11
(7) 太平洋側の大規模地震など災害リスクへの対応	12
(8) 豊かで多様な自然や文化資源の集積など地域資源の活用	13
(9) 漂着ゴミ、黄砂などの増大する環境問題への対応	14
3. 北陸圏の将来像	
(1) 人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一	15
(2) 世界に開かれた日本海側における交流の中枢拠点	17
4. 戦略目標	
(1) 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実	
① 災害に強い安全・安心な暮らしの充実	19
② 美しい国土の保全・管理と地球環境にやさしい暮らしの充実	20

③ 子育て支援の充実及び女性・中高年をはじめ、誰もが暮らしやすい生活環境の形成	21
④ 農山漁村と都市が共生する持続可能な連接型都市圏の形成	22
(2) ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成	
① 地域主体の戦略に基づく企業や人材誘致による地域産業の活性化	23
② イノベーションの促進による活発な新事業・新産業の創出	24
③ 食料・木材等の安定供給と食文化を活かした農林水産業の多角的な展開	25
(3) 三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアにつながる日本海側の中枢拠点の形成に向けた基盤の強化	
① 国内外に展開する信頼性の高い交通ネットワークの形成・強化	26
② 太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化	27
(4) 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出	
① 国内・国際観光・交流の充実	28
② 伝統文化の継承と発信	29
③ 環境をテーマとした環日本海諸国をはじめとした東アジアなどとの国際協調・貢献の推進	30
④ 国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進	31
5. 広域連携プロジェクト	
(1) 日本海沿岸震災対策プロジェクト(仮称)	32
(2) 立山・黒部、白山など山岳地域の多面的機能保全・活用プロジェクト(仮称)	33
(3) 日本海沿岸連接型都市圏形成プロジェクト(仮称)	34
(4) 北陸型農山漁村活性化プロジェクト(仮称)	35
(5) 北陸型子育て支援プロジェクト(仮称)	36
(6) 環日本海と三大都市圏との近接性を活かした産業エリア形成プロジェクト	37
(7) 食の北陸ブランド展開プロジェクト(仮称)	39
(8) 日本海沿岸物流基盤信頼性向上プロジェクト(仮称)	40
(9) 北陸観光・交流推進プロジェクト(仮称)	41
(10) 日本海海洋環境保全プロジェクト(仮称)	42

概要

1. 北陸圏広域地方計画イメージについて

北陸圏広域地方計画協議会準備会が平成19年1月に発足し、その要請により、地元有識者等による産業と活力専門分科会、安全・安心と暮らし専門分科会を平成19年2月から平成19年6月まで各3回開催し、そこでの意見等を踏まえて広域地方計画の議論・検討を重ねて整理したものである。

検討に当たって特に留意した事項

- 1) ポテンシャルを最大限に活用
 - ・北陸圏の持つポテンシャルを活かして、直面する課題を効果的・効率的に克服し、個性ある自立的な発展の方向を明らかにする
 - ・接続する都市・都市と近接する農山漁村の融合がもたらす魅力、日本海側有数の人口・産業・経済等の集積、豊かで多様な地域資源を活かした個性ある地域づくりに向けた方策を示す
 - ・三大都市圏や環日本海諸国をはじめとする東アジアに対する地理的優位性に加え、北陸新幹線など整備の進む広域交通ネットワークを活かした活力ある地域づくりの方策を明らかにする
- 2) 確固たるまとまりを持った戦略と交流・連携
 - ・域内、域外との広域的な交流・連携の中で、将来像実現において、計画的、先導的に取り組むべき戦略とプロジェクトを構築する
 - ・北陸圏を核として、三大都市圏や日本海国土軸、環日本海諸国をはじめとする東アジアなど、360度全方位の交流・連携のあり方を示す

《構成》

はじめに

第1章 北陸圏の現状と課題

第2章 北陸圏の将来像

1 人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一

2 世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点

第3章 新しい将来像実現に向けた戦略目標

1 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実

2 ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成

3 三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアにつながる日本海側の中核拠点の形成に向けた基盤の強化

4 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出

第4章 広域連携プロジェクト

第5章 隣接圏域との交流・連携

1 中部圏との交流・連携

2 その他隣接圏域との交流・連携

第6章 計画の実現に向けて

1 多様な主体の主体的な参加と協働

2 持続可能な圏域形成に向けた人材育成

3 広域的な発想の下での地域連携の促進

4 投資の重点化・効率化と公共施設の計画的な管理

5 他の計画・施策との連携

6 計画のモニタリング

2. 北陸圏の現状と課題

北陸圏の現状

- ✓ 良質な生活環境
- ✓ 豊かな自然環境
- ✓ 独自性のある文化
- ✓ 都市と農山漁村が近接した
ゆとりと利便性とを兼ね備えた環境
- ✓ 多様な産業の集積
- ✓ 三大都市圏や環日本海諸国をはじめとする東アジアに対する地理的優位性

ポテンシャルを最大限に活用

北陸圏の課題

- 雪や地震など厳しい自然災害への備え
 - 地震に対する備え
 - 風水害・土砂災害・流木等被害に対する備え
 - 降雪に対する備え
- 美しい自然環境・地球環境の保全への対応
 - 森林や農業等の有する多面的機能の保持や水循環系の健全性の確保
 - 地球環境の改善への貢献
- 接続する都市と自然豊かな農山漁村との融合が生み出す魅力の活用
 - 都市の賑わいの回復への対応
 - 伝統文化や自然と共生する暮らしを色濃く残す農山漁村の魅力の維持・活用
 - 子育てしやすい生活環境の充実
 - 中高年の積極的な社会参加等の充実
- 日本海側有数の人口・産業・経済等の集積の活用
 - 産業活力の向上に向けた既存企業群の強みや優秀な人材等の活用
 - 高付加価値化に向けた特色ある先端産業やエネルギー供給基地として培われた技術の活用
- 食料を供給し食文化を育む農林水産業の活性化
- 日本海に面し、三大都市圏から等距離にある地理的優位性の活用
 - 需要が拡大する国内外の物流や旅客流動への対応
 - 新たな物流や旅客の需要創出に向けた国内外の物流・流通網の充実・活用
- 太平洋側の大規模地震など災害リスクへの対応
- 豊かで多様な自然や文化資源の集積など地域資源の活用
 - 観光・交流の強化に向けた魅力ある地域資源の活用
 - 北陸圏の知名度向上
 - 新たな観光需要の喚起
 - 交流・定住化に向けた良質な生活環境の活用
 - 国際的な文化・学術交流のテーマとなる世界に誇る知恵・技術の活用
- 漂着ゴミ、黄砂などの増大する環境問題への対応

2

3. 北陸圏の将来像

“豊かで多様な自然、魅力ある都市や農山漁村及び活力ある産業が共生した、圏域内の連携と域外・国外との交流により我が国の持続的な発展を先導する、日本海国土軸の中核圏域”として位置付け

圏域内の連携

人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一

その実現に向けて・・・



都市が接続する都市圏と、豊かさや変化に富んだ特色を持つ自然とが近接



起伏地の美しい景観
富良野町の散居村
【出典】富良野市長会発行「市政」
(平成18年9月号)

国立公園に指定されている
白山
【出典】北陸地方の将来像

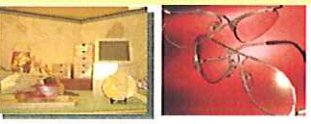
子育てしやすい高齢者など誰にもやさしい優れた
住環境など魅力ある都市や農山漁村



ゆとりがあり暮らしやすい
住環境
【出典】福井県HP

安全・安心・便利・快適！
H18開業の富山ライトレール
【出典】富山県HP

ものづくり文化に支えられた活力ある産業



国内シェアNo.1(99%)を
誇る金箔の、新技術による
新市場の開拓
【出典】石川県HP

国内シェアNo.1(96%)を
誇る眼鏡枠
【出典】福井県HP

域外・国外との交流

世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点

その実現に向けて・・・



国内外の活発な物流の創出



RORO船※
敦賀港多目的国際
ターミナル(イメージ)
【出典】「北陸港湾・空港ビジョン」
(平成17年2月)

地域文化力による交流の創出
富山県南砺市
(柳田オーナー制度を
核とした取組事例)
【出典】農林水産省 北陸農政局HP

※ロールオン・ロールオフ船。貨物をトラックやフォークリフトで積み卸す(水平荷役方式)のために、船尾や船側にゲートを有する船舶であり、そのまま乗り降りを行うため、荷役効率が飛躍的に向上する。

3

5. 広域連携プロジェクト

4

5

参考図表

2. 北陸圏の現状と課題

(1) 雪や地震など厳しい自然災害への備え

地震、豪雪、洪水、土砂災害、流木被害などの自然災害に対して人々の生活の安全・安心の確保や、活発な産業・経済活動の維持のため、**道路交通の確保、治水対策や土砂災害対策**などのハード対策、**災害予測や情報提供など防災技術**の向上、**ハザードマップや防災行政無線**など防災・減災のためのソフト対策の推進が必要

平成19年(2007年)能登半島地震



平成19年3月25日発生
死者1名、負傷者338名
【出典】石川県HP

平成18年豪雪



【写真提供】福井県HP
宇奈月ダム流木被害



【出典】黒部河川事務所HP

平成16年7月福井豪雨



平成16年7月18日発生
死者不明者5名
【出典】「平成16年福井豪雨による災害について」国土交通省
近畿地方整備局・福井県土木部

土砂災害



小黒部谷の崩壊地
【出典】北陸砂防資料館
ネットワークHP

道路整備による規制区間の迂回



能登自動車道七尾水見道路
【出典】金沢河川国道事務所HP

治水対策施設の整備



愛本床止工
【出典】黒部河川事務所HP

土砂災害対策施設の整備



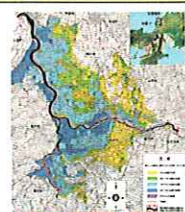
柳谷上流砂防堰堤群(手取川水系直轄砂防事業)
【出典】北陸地方整備局

防災情報の提供



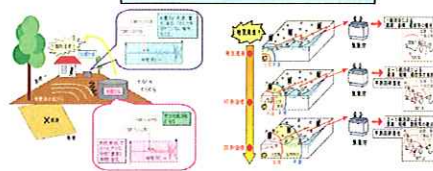
【出典】国土交通省 防災情報提供センターHP

ハザードマップの整備・普及



九頭竜川水系浸水想定区域図
【出典】国土交通省福井河川国道事務所HP

地震災害の予測



【出典】気象庁HP

緊急地震速報

市町村防災行政無線の整備

市町村防災行政無線の設置状況

全国	北陸	富山県	石川県	福井県
94.1%	92.2%	93.3% (33位)	84.2% (41位)	100% (1位)

※総務省総合通信基盤局調べ(平成18年6月末現在)
【出典】「情報通信・北陸2006」(北陸版情報通信白書)

2. 北陸圏の現状と課題

(2) 美しい自然環境・地球環境の保全への対応

3,000m級の山々が育む豊かな森林から田園風景、日本海など海洋までの美しく多様な自然環境の維持に向けた、森林や農業等の多面的機能の保全や健全な水循環系の維持に対する取組、圏域内に豊富に蓄積するバイオマス資源の有効活用など、地球温暖化防止に向けた貢献が必要

北陸圏の地形



豊かな水資源



名水百選に選ばれた古和秀水(こわしゅうど)(石川県)



名水百選に選ばれた立山玉殿(たまたどの)の湧水(富山県)
【出典】富山県HP観光ナビゲータ 富山百景



ラムサール条約湿地の三方五湖(福井県)
【出典】北陸農政局HP バイオマスタウン構想:福井県若狭町



名水百選に選ばれた瓜割(うりわり)の滝(福井県)
【出典】北陸地方の将来の姿

豊かな自然風景・自然環境



国立公園に指定されている白山(石川県)
【出典】北陸地方の将来の姿



日本の棚田百選に選定された三乗(富山市・旧・八尾町)
【出典】富山県HP



天然記念物に指定されている東尋坊(福井県)
【出典】北陸地方の将来の姿



海外の観光客にも人気の高い雪の大谷(富山県立山)
【出典】富山県HP



日本の棚田百選に選定された白米の千枚田(石川県輪島市)
【出典】石川県HP



日本の渚百選に指定されている雨晴海岸(富山県)
【出典】北陸地方の将来の姿

里山・里地保全

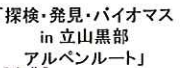


【出典】社団法人石川の森づくり推進協会HP

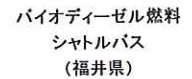


【出典】「里地里山保全再生モデル事業」福井県HP

バイオマス資源の有効活用



「探検・発見・バイオマス in 立山黒部アルペンルート」
【出典】北陸バイオマス発見活用協議会事務局HP



バイオディーゼル燃料シャトルバス(福井県)
【出典】北陸農政局HP

間伐の推進と利活用



【出典】北陸農政局HP バイオマスタウン構想:福井市(旧美山町)

外来植物を除去、資源化



オノエヤナギをチップ化

2. 北陸圏の現状と課題

(3) 接続する都市と自然豊かな農山漁村との融合が生み出す魅力の活用

全国平均より早い人口減少、全国より緩やかな少子化が進展する中で、地域活力を維持していくためには、北陸圏の持つ接続する都市**と近接する**自然豊かな農山漁村**との融合が生み出す魅力を活かして、北陸新幹線の開業効果を高める**集約型都市構造**への転換など都心の賑わい回復や**地域公共交通の充実**、農山漁村の魅力ある暮らしの維持、**子育てしやすい**、**高齢者や障がい者**をはじめ誰もが安心して暮らすことのできる生活環境の充実等、農山漁村と都市が共生する**接続型都市圏**の形成に向けた取組が必要**

接続する都市

<主要都市の人口>



【出典】総務省統計局「国勢調査報告」(平成17年)をもとに北陸地方整備局作成

自然豊かな農山漁村



五箇山相倉集落(富山県南砺市)
【出典】富山県HP



福井県越前町

注1:「直近トレンド型」とは、

都道府県間の人口

移動率を直近

(2000-2005年)の係

数で固定した場合の

数値であり、「転移率

率ゼロ型」とは、都道

府県間の人口移動

率を今後一定して

ゼロに固定した場合

の計算。

注2:推計人口は、社会保障・

人口問題研究所「日本

の将来推計人口」(日

本18年12月推計)にお

ける出生中位(死亡中

位)推計の総人口に、

合計を一致させている。

注3:実績以外の人口につ

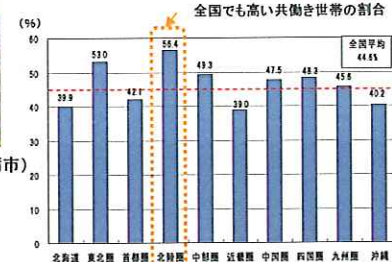
いては、単位を10万人と

している。また、比率

は実数を元に算出した

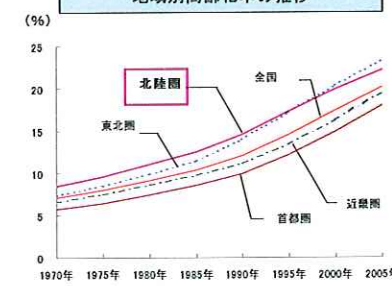
ものである。

共働き世帯の割合



【出典】総務省統計局 国勢調査(2005年)

地域別高齢化率の推移



全国初の中心市街地活性化基本計画認定を受けた富山市の集約型都市構造への転換の取組



富山市「まちなか居住推進事業」

地域公共交通の充実



コミュニティバス「ぐるりん」

【出典】福井県勝山市HP



巡回バス「のらんちゴ」

【出典】石川県宝達志水町HP

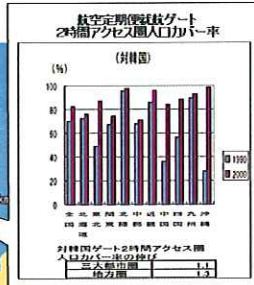
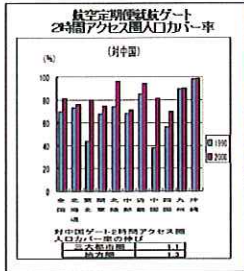
将来の人口推計											
		東近畿	近畿圏	中部圏	北近畿	近畿圏	中国圏	四国圏	九州圏	全国	
実績	2000年	人口	1,229	4,132	1,899	313	2,086	773	415	1,345	12,693
	2005年	人口	1,207	4,238	1,722	311	2,089	768	409	1,335	12,777
直近トレンド型 (2000-2005 年推定)	2005年	人口	-1.8%	2.6%	1.3%	-0.7%	0.2%	-0.7%	-1.6%	-0.7%	0.7%
	2010年	人口	1,170	4,300	1,720	300	2,070	750	400	1,310	12,720
直近トレンド型 (2000-2005 年推定)	2010年	人口	-2.9%	1.4%	0.0%	-2.0%	-1.0%	-1.5%	-2.8%	-1.7%	-0.6%
	2020年	人口	1,080	4,300	1,670	280	1,970	710	370	1,240	12,270
直近トレンド型 (2000-2005 年推定)	2020年	人口	-10.5%	1.4%	-2.7%	-8.5%	-5.5%	-8.0%	-10.6%	-7.1%	-3.9%
	2010年	人口	1,190	4,240	1,720	310	2,080	760	400	1,320	12,720
直近トレンド型 (2000-2005 年推定)	2010年	人口	-1.3%	0.0%	-0.2%	-1.0%	-0.3%	-1.1%	-1.7%	-0.8%	-0.5%
	2020年	人口	1,130	4,110	1,670	290	2,010	720	380	1,280	12,270
直近トレンド型 (2000-2005 年推定)	2020年	人口	-6.0%	-2.6%	-3.2%	-5.2%	-3.7%	-5.6%	-7.1%	-4.5%	-3.2%

2. 北陸圏の現状と課題

(6) 日本海に面し、三大都市圏から等距離にある
地理的優位性の活用

経済発展の進む環日本海諸国をはじめとした**東アジアや三大都市圏に対する地理的優位性**を活かして、全国平均を超えて増加する**外貨コンテナ貨物取扱量や順調に増加するそれら諸国からの外国人観光客**など拡大する物流・旅客の需要への対応のみならず、それら需要を喚起し、より一層の対内直接投資の拡大、日本海側の中核拠点としての役割を強化するため、物流・流通や旅客輸送を支える**北陸新幹線、高規格幹線道路や地域高規格道路などの幹線道路、空港・港湾などの広域交通ネットワークの強化**が必要

日本海を挟んで環日本海諸国に直面



【出典】国土交通省HP 国土のモニタリング

外国人観光客数の推移

兼六園の入込状況

	平成17年 (人)	平成18年 (人)	平成19年 (人)	対前年比(%)
台湾人	50,145	59,852	79,142	132
韓国人	7,208	10,404	12,686	122
中国人(香港)	2,536	2,734	2,788	102
全外国人	75,853	95,987	125,000	130
全外国人/全入込	5%	6%	8%	

立山黒部アルペンルートの入込状況

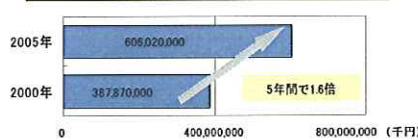
	平成17年 (人)	平成18年 (人)	平成19年 (人)	対前年比(%)
台湾人	64,024	75,216	87,469	116
韓国人	7,451	13,644	19,540	143
中国人(香港)	1,242	2,471	5,195	210
全外国人	73,726	92,511	115,382	125
全外国人/全入込	7%	9%	12%	

【出典】北陸信越運輸局作成

北陸圏の国際コンテナ取扱貨物量(港別)



北陸圏における輸出入貨物の貿易額



【出典】「貿易統計」財務省より作成

広域交通ネットワークの強化



【出典】北陸地方整備局作成

2. 北陸圏の現状と課題

(7) 太平洋側の大規模地震など災害リスクへの対応

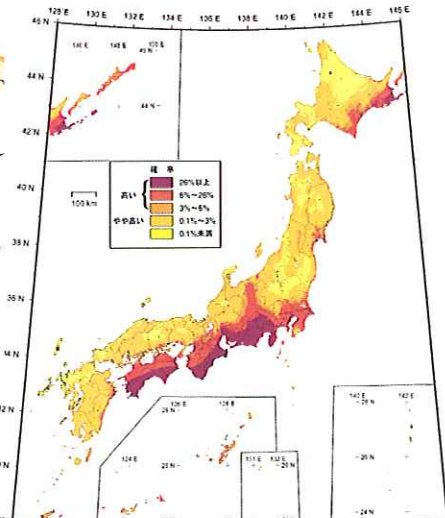
中部圏や近畿圏、首都圏など**大都市圏いずれにも300km圏と近接する北陸圏において**、近年日本海側で多発した地震災害の経験を活かし、リダンダンシーを発揮し旅客及び物流機能の向上に資する**広域交通ネットワークの形成や、防災支援体制の整備などにより、東海、東南海、南海地震などの太平洋側の大規模自然災害時における被害軽減に向けた被災者の受入や広域的な応急復旧の対応**など、太平洋側の災害時におけるセーフティネットとしての役割を担っていくことが必要

今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図(平均ケース)

三大都市圏から300km圏内に位置



【出典】北陸地方整備局作成資料



【出典】「全国を概観した地震動予測地図」2007年版
平成19年(2007年)
地震調査研究推進本部 地震調査委員会

東海地震の経済被害(約37兆円)

	予知なし(突発発生)	予知あり(警戒宣言)
直接被害 (個人住宅の被害、企業施設の被害、ライフライン被害等)	約2.6兆円	約2.2兆円
間接被害 生産停止による被害	約1.1兆円	約9兆円
東西幹線交通被害	約3兆円	約2兆円
地域外等への波及	約2兆円	約2兆円
合計	約3.7兆円	約3.1兆円

※過去の地震災害の被害を踏まえて推計。
※人的被害及び公共土木被害は含まれていない。
○直接被害は(住宅・事務所、企業施設、店舗、倉庫、54万戸の施設被害)を除く。法政大震災の被害は約10兆円と推計されており、単純に比較はできないが、大きく上回っている。
○間接被害(生産停止による被害、東西幹線交通被害、波及被害)は(生産停止による被害、製造・小売業、サービス業等)と影響の企業(農業、鉱業、不動産業等)に分類し、生産停止の被害を算出。また、東西幹線交通の被害は、被害の発生や被害の拡大により最大半壊被害を算出。これにより、大規模な被害と見られる被害の被害を算出。

【出典】「東海地震に係る被害想定結果について」、中央防災会議「東海地震対策専門調査会」事務局

広域防災ネットワークの整備



【出典】北陸地方整備局 平成19年度事業概要

2. 北陸圏の現状と課題

(8) 豊かで多様な自然や文化資源の集積など地域資源の活用

歴史が培った**多様な伝統・文化、特色ある自然、豊かで多様な食、優れた住環境**など豊かで多様な地域資源を活かして、北陸圏の**知名度向上**や新たな観光需要を喚起する観光スタイルの構築など国内外からの観光・交流の拡大、大都市圏住民をターゲットとした**体験型滞在**や二地域居住、U・J・Iターンによる定住化への取組、さらには、それら地域資源や世界に誇る多様な地域の知恵・技術等を活かした**国際的な文化・学術交流**の推進が必要

豊かで多様な地域資源



富山県・八尾曳山祭り
【出典】国土交通省
総合政策局HP



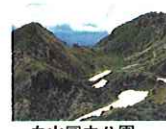
石川県・能登キリコ祭り
【出典】石川県HP



福井県・三国祭
【提供】福井県



豊富な水資源(黒部ダム)
【出典】富山県HP



白山国立公園
【出典】石川県HP



若狭湾国定公園
【出典】福井県HP



ホタルイカ
【出典】富山県HP



甘エビ
【出典】石川県HP



焼き鯖寿司
【出典】福井県HP



金屋町(富山県高岡市)
【出典】北陸地方整備局
平成18年度事業概要

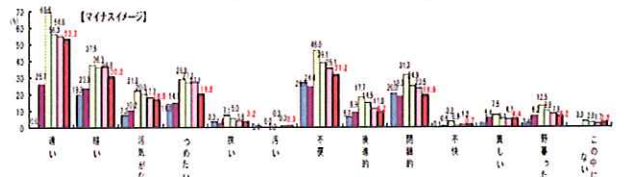
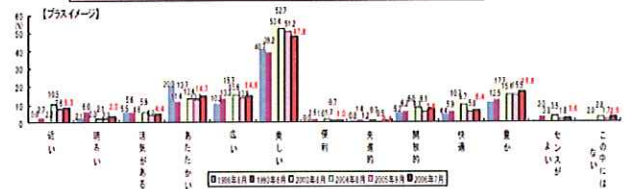


瑞樹団地地区(金沢市)
【出典】(財)都市づくりパブリックデザインセン
ター「都市景観大賞『美しいまちなみ賞』」



おわら風の盆の八尾地区(富山市)
【出典】「平成17年度都市景観大賞『美しいまちなみ賞』受賞地区概要」

北陸のイメージに関するアンケート調査結果



※三大都市圏在住者を対象に平成18年7月14日～18日にかけてインターネットを使って調査したもので、調査項目は、北陸に対する印象・イメージ、北陸の観光資源などに対する認知度・評価など、約1,600名から回答

体験型滞在



自然環境、歴史・文化また竹細工名人や紙すき名人など「ふるさと」に認定されている生活の達人とのふれあいなど都市住民との交流

【出典】所司原村づくり推進協議会
北陸農政局HP

国際的な交流



JAPAN TENT
【出典】JAPAN TENT HP

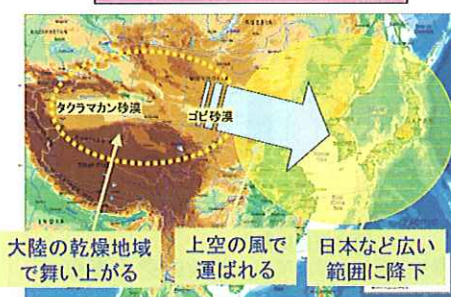
13

2. 北陸圏の現状と課題

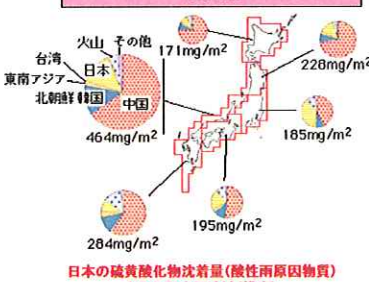
(9) 漂着ゴミ、黄砂などの増大する環境問題への対応

豊かな地域資源や知恵・経験・技術を活かして、公害防止対策や省・新エネルギーなどの環境技術の提供、環日本海諸国をはじめとする**東アジアの地域レベルの産学官の環境パートナーシップの強化**など、各国と協力・連携しつつ、**日本海沿岸地域で大規模化する黄砂の飛来や酸性雨、海浜部への漂着ゴミの増加、さらには地球温暖化**などの深刻化する環境問題の解決に向けた主体的な取組が必要

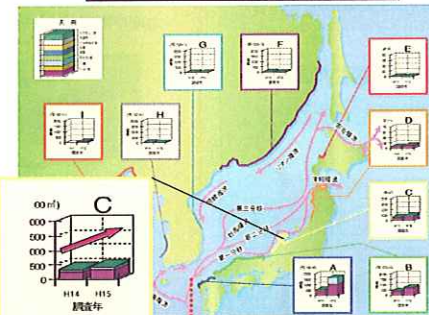
東アジアの砂漠域からの黄砂の飛来



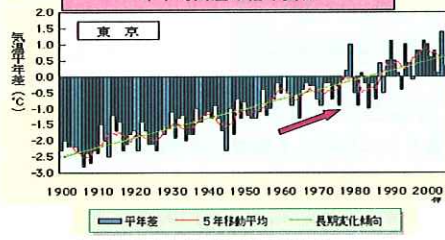
酸性雨



増加する漂着ゴミ



年平均気温の経年変化



東アジアとの協力・連携



「北西太平洋地域における海洋及び沿岸の環境保全・管理・開発のための行動計画(NOWPAP)」
【出典】NOWPAP HP



第9回日中韓三カ国環境大臣会
2007年12月に富山県富山市で開催

日中韓三カ国環境大臣会(TEMM)

【出典】TEMMウェブサイトHP

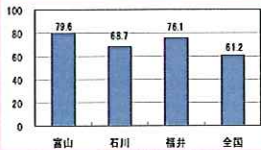
14

3. 北陸圏の将来像 (1)人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一①

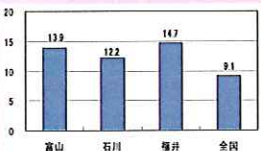
①魅力ある生活環境を有する都市圏（優れた住環境と接続する都市圏）と②多自然（豊かさと変化に富んだ特色を持つ自然）、③活力ある産業（ものづくり文化と進取の気性）が、④共生する自立的に発展する圏域づくりを進め、⑤誰もが世代・価値観に応じた多彩な生活、就業、交流の機会を享受し、豊かさを実感することのできる **人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一の圏域**を目指す。

① 魅力ある生活環境を有する都市圏 （優れた住環境と接続する都市圏）

- ・**優れた住環境**・ 持ち家比率、図書館・博物館などの人口当り整備率が全国トップにあるなど、優れた住環境と合計特殊出生率が全国平均を確保、また、女性有業者比率が全国トップになるなど働く女性にも子育てしやすい地域
- ・**接続する都市圏**・ 人口10万人以上の都市が相互に30分圏で接続する地域



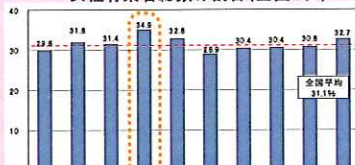
【出典】「住宅・土地統計調査報告全国編」総務省(2003年)



【出典】国土交通省 都市・地域整備部データベース(2006年)



安全・安心・便利・快適！
H18開業の富山ライトレール【出典】富山県HP
女性労働力人口に対する24～54歳の女性有業者総数の割合(全国1位)



【出典】総務省統計局就業構造基本調査(2002年)

② 多自然（豊かさと変化に富んだ特色ある自然）

- ・**厳しい自然**・ 平成19年(2007年)能登半島地震、平成18年豪雪、土砂災害や急流河川氾濫、平成16年7月福井豪雨や昨今頻繁に来襲する台風など風水害

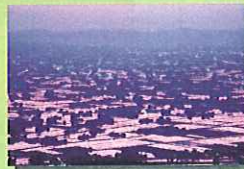


激しい降雨に見舞われた平成16年7月福井豪雨
【出典】国土交通省 近畿地方整備局HP



山間部等での雪崩による停電や孤立世帯も発生した平成18年豪雪
【写真提供】富山県

- ・**変化に富む自然**・ 中部山岳地域～扇状地の市街地や農地等の広がり～豊かで清浄な河川の流れ～多様な魚介類を育てている日本海



扇状地の美しい景観 砺波平野の散居村
【出典】散居村ミュージアムHP



白山国立公園の美しい眺め

【出典】環境省HP

15

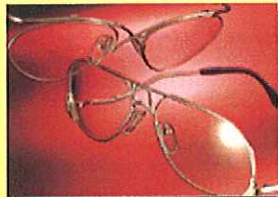
3. 北陸圏の将来像 (1)人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一②

③ 活力ある産業（ものづくり文化と進取の気性）

- ・**多彩な伝統産業**・ 製菓、漆器など什器、金箔など、全国シェアも上位に位置する伝統産業
- ・**先端技術を持つ個性ある企業群**・ 伝統産業と先端技術や他産業との融合などにより、世界、国内トップシェアを持つニッチトップな中小企業群の集積



国内シェアNo.1(99%)を誇る金箔の、新技術による新市場の開拓
【出典】石川県HP



国内シェアNo.1(96%)の眼鏡枠
【出典】福井県HP



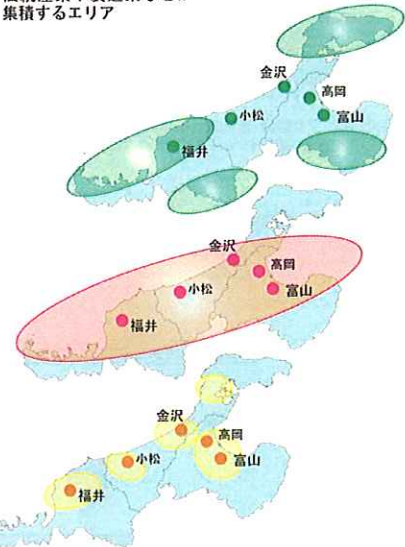
繊維産業の新たな取組である国内シェアNo.1(38%)のカーシート
【出典】福井県HP



有名F1チームにも供給されている富山県内企業のアルミホイール
【出典】中小企業庁HP

④ 都市圏と多自然、活力ある産業が共生する
自立的に発展する圏域づくり

- 自然環境の豊かなエリア
- 人口の集積するエリア
- 伝統産業や製造業などが集積するエリア



- ⑤ 誰もが世代・価値観に応じた多彩な生活、就業、交流の機会を享受

誰もが豊かさを実感することのできる人々をひきつける暮らしやすさ日本一の圏域を目指す

16

3. 北陸圏の将来像

(2)世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点①

1

①雪国の風土（豊かで多様な自然や生活、歴史・文化、産業など）が培ってきた②地域の文化力による観光、文化・学術面での交流の創出、③経済発展する環日本海諸国をはじめする東アジアと日本海を挟んで対面し、後背に三大都市圏と近接する地理的特性を活かした、④太平洋側の災害リスクや⑤日本海沿岸地域の環境リスクへの積極的な解決への取組、⑥日本海側有数の集積を誇る⑦ものづくり産業と一体となった国内外の活発な物流の創出により、我が国の持続的な発展を先導する世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点となる圏域を目指す。

①雪国の風土（豊かで多様な自然や生活、歴史・文化、産業など）が培ってきた地域の文化力

豊かで多様な自然や生活...

- ・雪国、3000m級の山々
- ・日本海へ流下する急流河川
- ・散居村や棚田などの人の営みと融合した中山間の風景等



小さな田が幾何学模様を描いて日本海へ続く白米千枚田
【出典】輪島市HP



アルペンルートみくりが池
【出典】富山県HP

歴史・文化...

- ・渤海との交易の時代から続く歴史
- ・歴史が培う多様な文化
- ・浄土真宗を始め思想家や書道家などの芸術家も多数輩出



日本の禅修行の場として歴史を刻む永平寺
【出典】永平寺町HP



加賀歴代藩主により長い歳月をかけて形づくられた兼六園
【出典】石川県HP

産業...

- ・製薬や漆器などの伝統産業
- ・ニッチトップ企業群の集積
- ・伝統技術と最先端技術の融合による新事業創出



全国ブランドの伝統工芸の漆器など什器
【出典】石川県HP



関連産業の発展をもたらした富山の売薬
【出典】富山商工会議所HP

雪国の風土が培ってきた...

地域の文化力

17

3. 北陸圏の将来像

(2)世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点②

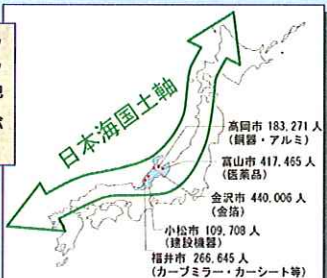
③経済発展する環日本海諸国をはじめする東アジアと日本海を挟んで対面、後背に三大都市圏と近接する地理的特性

三大都市圏から300km圏
環日本海諸国などに日本海を挟んで対面



⑥日本海側有数の集積を誇るものづくり産業

眼鏡枠・金箔・金属メッキ・アルミ製品などニッチトップ企業が多数立地
人口10万人以上の都市が相互に30分圏内に存在



18

4. 戦略目標

(1) 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実
① 災害に強い安全・安心な暮らしの充実

人々の生活の安全・安心を確保し、活発な産業・経済活動を維持するとともに、地震や豪雪、風水害、津波・高潮災害、土砂災害、流木被害などへの防災・減災対策に取り組む。特に、日本海側で発生する地震による被害や地域のみならず広域への被害拡大が危惧される原子力発電所などの被災に対する安全・安心対策を強化していく。



災害に強い安全・安心な暮らしを実現

19

4. 戦略目標

(1) 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実
② 美しい国土の保全・管理と地球環境にやさしい暮らしの充実

河川流域全体を視野に入れた健全な水循環系を再構築するとともに、農業の担い手育成や、都市住民との交流・連携を通じた森林や農地などの持続的な保全体制を構築する。さらに、森林や農地の境界保全を推進し、希少な野生動植物の保護や鳥獣被害の防止などバランスのとれた自然環境の保全に取り組む。

また、未利用資源の多様な活用の推進、円滑な道路交通の実現や地域公共交通の利用拡大、廃棄物の発生抑制及び減量化・リサイクルなど循環型社会の構築、長期にわたって使用可能な質の高い住宅ストックの形成など、生活環境の改善に取り組んでいく。



美しい国土の保全
地球温暖化防止への貢献

農業の営みの中で
守られてきた棚田
(富山県上市町)

【出典】富山県HP

水系全体でバランスの取れた総合的な土砂管理
(黒部川扇状地)

【出典】国土交通省北陸地方整備局河川部HP



20

4. 戦略目標

- (1)安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実
③子育て支援の充実及び女性・中高年をはじめ、誰もが暮らしやすい生活環境の形成

子育て支援、女性の就業・起業や社会参加の促進支援など、働きながらも子育てしやすい環境の形成により、出生率の上昇及び次世代を見据えた北陸圏の発展を図る。さらに、健康・福祉サービスの充実や、団塊世代など中高年の豊富な経験・知恵・技術を活かす場の形成など、生きがいと安心、ゆとりやいやしのある生活環境を形成する。

また、公的賃貸住宅の整備や民間賃貸住宅を活用した重層的かつ柔軟な住宅セーフティネットを構築する。

【出典】「ふくい女性のチャレンジサイト」HP(福井県)

【出典】「チャレンジ・サイト(石川版)」HP
石川県「女性再チャレンジ支援室」HP

【出典】「富山県いきいき長寿センターHP」

【出典】「社団法人石川県シルバー人材センター連合会HP」

【出典】「(財)石川県長寿生きがいセンターHP」

【出典】「(社)富山県シルバー人材センター連合会HP」

女性の就業・起業支援

子育て支援コーディネーター研修(石川県)
【出典】財団法人いしかわ子育て支援財団

子育て支援プランの作成(石川県)

子育てひろば(石川県)

子育てでマスター制度(福井県)

子育て支援

家庭 企業 地域社会・地域住民 学校 保育園・幼稚園

【出典】「未来とやま子育てプラン」

誰もが暮らしやすい生活環境の実現

中高年の生きがいと安心やゆとり、いやしのある暮らしの充実 **21**

4. 戦略目標

- (1)安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実
④農山漁村と都市が共生する持続可能な接続型都市圏の形成

北陸新幹線の開業の効果を都市間の連携や活力向上に有効に寄与させていくとともに、都市と農山漁村が近接する特徴を活かしてそれぞれ特色のある発展を目指す。さらに、そのことにより、ゆとりやいやしと利便性とを兼ね備えた豊かな暮らしを育むことのできる環境づくりや、安全な移動空間の確保に取り組む。

七尾水見道路
【出典】北陸地方整備局
平成19年度事業概要

【出典】富山ライトレール社HP

デマンド交通サービス(石川県志雄町)【出典】ITpro

都市と農山漁村を結ぶ交通ネットワークの整備

都市間相互の連携の仕組みづくり

・地域高規格道路の整備
・北陸新幹線の整備
・主要幹線道路の整備・強化
・バス網などの整備・強化
・在来線の再編
・中核的な都市における都市機能の維持・増進
・親水空間など憩いの場の整備
・LRTなどの整備・強化

富山駅連続立体交差事業

金沢駅周辺の都市再開発

福井駅周辺地区の再生
【出典】近畿地方整備局

都市機能の維持・増進

福井運動公園

能登歴史公園

富山県富岩運河環水公園

憩いの場の整備

ゆとりと利便性とを兼ね備えた豊かな暮らしを育む農山漁村と都市とが共生する空間の実現

22

4. 戦略目標

(2)ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成
①地域主体の戦略に基づく企業や人材誘致による地域産業の活性化

北陸圏の有する特性を活かして、国際的な経済交流や独自の産業振興戦略の策定、海外市場進出への支援などに取り組む。このことにより、国内外の高付加価値型産業や研究開発拠点などの企業誘致を進め、国際競争力のある産業集積拠点を目標とする。また、北陸圏の有する優れた地域文化等を国内外に発信し、若年層や団塊世代の誘致や、海外からの留学生の招へいを進めるとともに、産学官の連携による技術の蓄積を活かした起業精神にあふれる実践的な人材を育成し、次代を担う優秀な人材を確保する。



対内直接投資と優れた人材の定着・育成・誘致で地域産業の国際競争力の強化を実現

23

4. 戦略目標

(2)ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成
②イノベーションの促進による活発な新事業・新産業の創出

進取の気性に富む北陸圏にあって、伝統産業から先端産業までの多彩な技術や地域資源を活かして、技術の高度化や事業展開の支援、産学官連携によるイノベーションの促進などにより新事業・新産業の創出に取り組むことで、付加価値を高める内発型産業を育成する。



ものづくり文化と進取の気性、日本海側有数の産業集積を活かしたイノベーションの促進で、新技術・新産業を創出

24

4. 戦略目標

(2)ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成
③食料・木材等の安定供給と食文化を活かした農林水産業の多角的な展開

農業の担い手の育成及び経営の安定化を図るとともに、農地及び農業用水などの生産基盤を整備し、これらの有効利用を推進する。また、地域住民や一般消費者も含めた多様な主体の参加を得て、保全・向上を図る取組を推進する。

あわせて、食育の推進や食材のブランド化、地域食品産業の活性化、農商工連携の推進などに取り組むとともに、地産地消の推進により、地元農林水産物の生産振興と食や農業・漁業に対する一般消費者の理解の増進を図る。

さらに、国内における木材の安定供給体制の整備を進め、多面的機能を有する森林づくりに取り組む。なお、NPOや企業などとも連携し、農山漁村の美しい景観や文化などを活用して、新たな観光・交流の拡大に取り組むなど、農林水産業の経営多角化を展開する。



【出典】「富山県農業・農村振興計画」



水産資源と食品加工



食材のブランド化

加賀野菜(石川県)

【出典】石川県HP

かまぼこ

【出典】富山県HP

かぶら蒔し

【出典】石川県観光物産館HP

若狭かいり

【出典】福井県HP



【出典】「福井型食生活行動プラン」

(H13に21世紀福井の食料・農業・農村ビジョンを策定)



農林水産業の将来ビジョンの事例(石川県)

【出典】「いしかわの食と農業・農村ビジョン」

競争力のある生産構造の確立、ブランド化、食文化をテーマとした新たな交流・観光の拡大で、農林水産業の多角化を展開

高付加価値型農業、農産物の加工・販売(富山県砺波市)



そばの加工作業



機械・農作業の共同化(石川県津幡町)

中山間地域等直接支払制度を活用した取組事例

【出典】北陸農政局HP

生産性の向上や高付加価値化



富山県南砺市平集落協定

【出典】北陸農政局HP



福井県勝山市聖九集落協定

【出典】北陸農政局HP

体験・交流

4. 戦略目標

(3)三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアにつながる日本海側の中枢拠点の形成に向けた基盤の強化

①国内外に展開する信頼性の高い交通ネットワークの形成・強化

企業が取り組むJITやSCMに応える物流コストの低減、時間短縮、定時性確保及び少量多品種輸送への対応など信頼性の確保、さらには、環境配慮にも対応した物流・流通網を構築する。そのため、隣接圏とも連携し、陸・海・空の広域交通ネットワークを整備し、国内外とダイレクトに結ぶ迅速かつ低廉で多様な輸送経路を確立する。また、国内外からの観光客の誘致に向けて、交通結節点と観光地間を結ぶ利便性の高い交通ネットワークを強化する。

さらに、選択可能な輸送経路の充実や災害時のリダンダンシーを發揮する信頼性の高い交通ネットワークを形成し、物流・旅客輸送機能を強化するとともに、日本海の海域・空域の安全を確保していく。



RORO船(敦賀港)



金沢港
多目的国際ターミナル



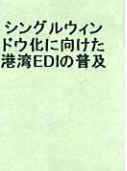
多様な輸送経路の構築



小松空港エプロン拡張



空港・港湾機能の強化



ロジスティクス支援センターの整備



国内外物流拠点の機能強化



国際・国内に展開する信頼性の高い広域交通ネットワークを構築



【出典】「北陸港湾・空港ビジョン」(平成17年2月)

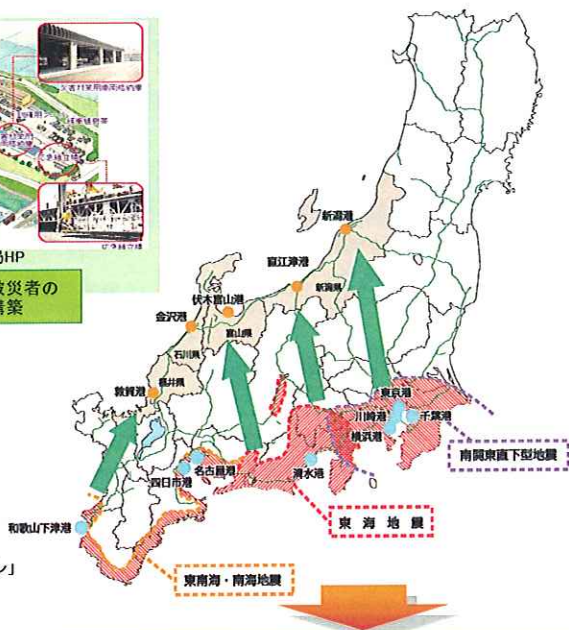
時間短縮効果(東海北陸自動車道経由)			
	96年	01年	06年
金沢→名古屋	336分	275分	251分
富山→名古屋	344分	285分	258分

道路・鉄道基盤の整備

4. 戦略目標

- (3) 三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアにつながる日本海側の
中枢拠点の形成に向けた基盤の強化
② 太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化

東海、東南海、南海地震などによる太平洋側への甚大な被害の軽減に向けて、隣接圏とも連携し、避難生活時に必要になる大量の食料などの供給や広域医療支援など、迅速な応急復旧を支え、太平洋側と相互補完できるリダンダンシーを発揮する旅客流動・物流基盤の整備や広域的な支援体制づくりに取り組むことで、太平洋側の地震災害などの被災に対するセーフティネットとしての役割を担う。



太平洋側の地震災害などの被災に対するセーフティネットとしての役割を発揮

27

4. 戦略目標

- (4) 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出
① 国内・国際観光・交流の充実

隣接圏とも連携しつつ、北陸圏の特色を活かした国際競争力の高い魅力ある観光地づくりを進め、NPOや企業、行政が一体となった取組により「観光地北陸」の魅力を国内外に発信し、新たな観光需要を喚起する。

また、国内外観光客の利便性の向上や多様な魅力的な観光ルートの創出に向けた地域交通ネットワークの強化やおもてなしの心にあふれる受入環境づくりなど国内外観光客の満足度の高い地域づくりを進める。

さらに、都市住民を対象に体験型滞在を展開し、二地域居住やU・Iターンによる定住を促進するため、北陸圏の認知度の向上、暮らしの魅力に関する適切な情報発信、居住希望者の受け入れや就業支援などを推進する。



国内外観光客の誘致を拡大

28

4. 戦略目標

(4) 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出
② 伝統・文化の継承と発信

豊かな自然、伝統的な食や産業など雪国における生活や地域の歴史・文化を体験学習するなど都市と地方の交流の場、人材育成の場を創出し、優れた地域イメージを積極的に発信することで、雪国文化が育んできた伝統芸能、伝統産業などを継承する。



29

4. 戦略目標

(4) 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出
③ 環境をテーマとした環日本海諸国をはじめとした東アジアなどとの国際協調・貢献の推進

日本海沿岸地域と対岸諸国を取り巻く環境問題に対処するため、海岸部への漂着ゴミの増加や酸性雨、黄砂、地球温暖化対策など環境問題の解決をテーマとした環日本海諸国をはじめとする東アジアなどとの国際協調・貢献に取り組む。



30

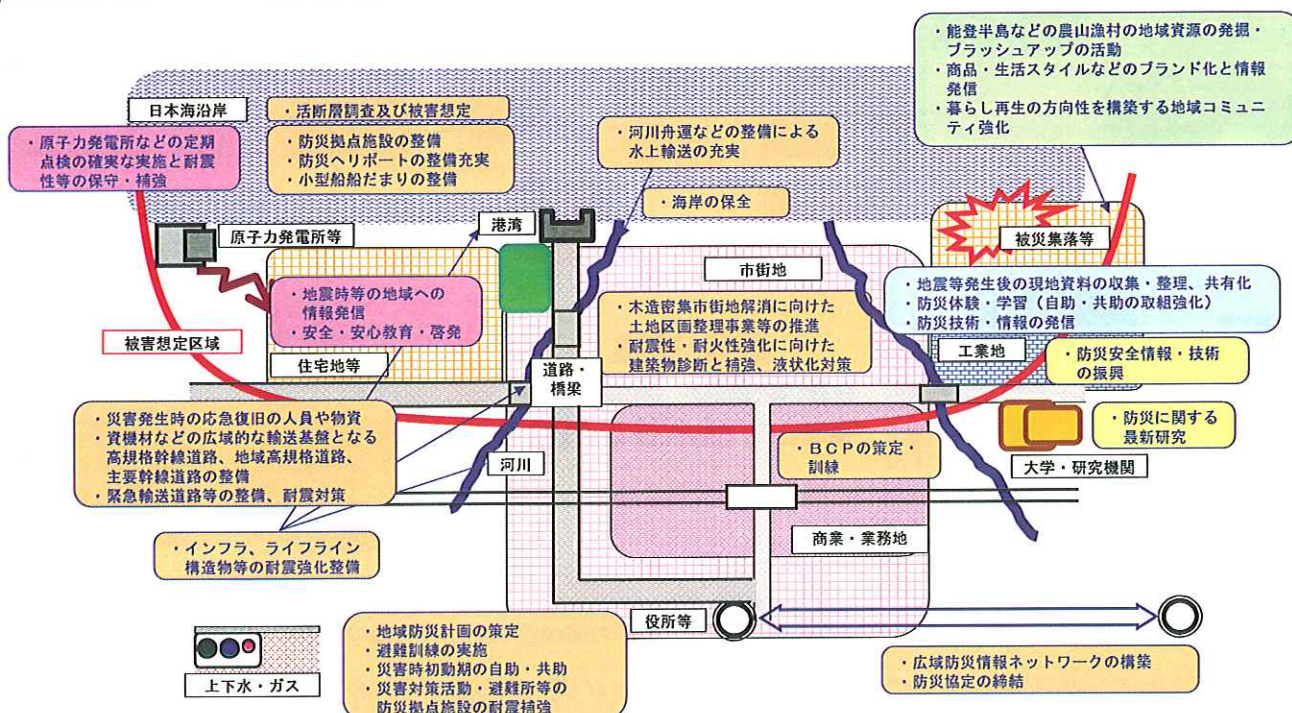
④国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進

北陸圏の国際的な知名度を向上するとともに、国際的に活躍できる人材を育成するため、文化・学術・スポーツの国際交流を拡大する。さらに、将来の国際的なビジネスパートナーを獲得していくため、エネルギーや安全・安心に関する先端産業と伝統産業などとの融合による技術研究とその成果を活かした人材育成などの国際協調・国際貢献に取り組む。



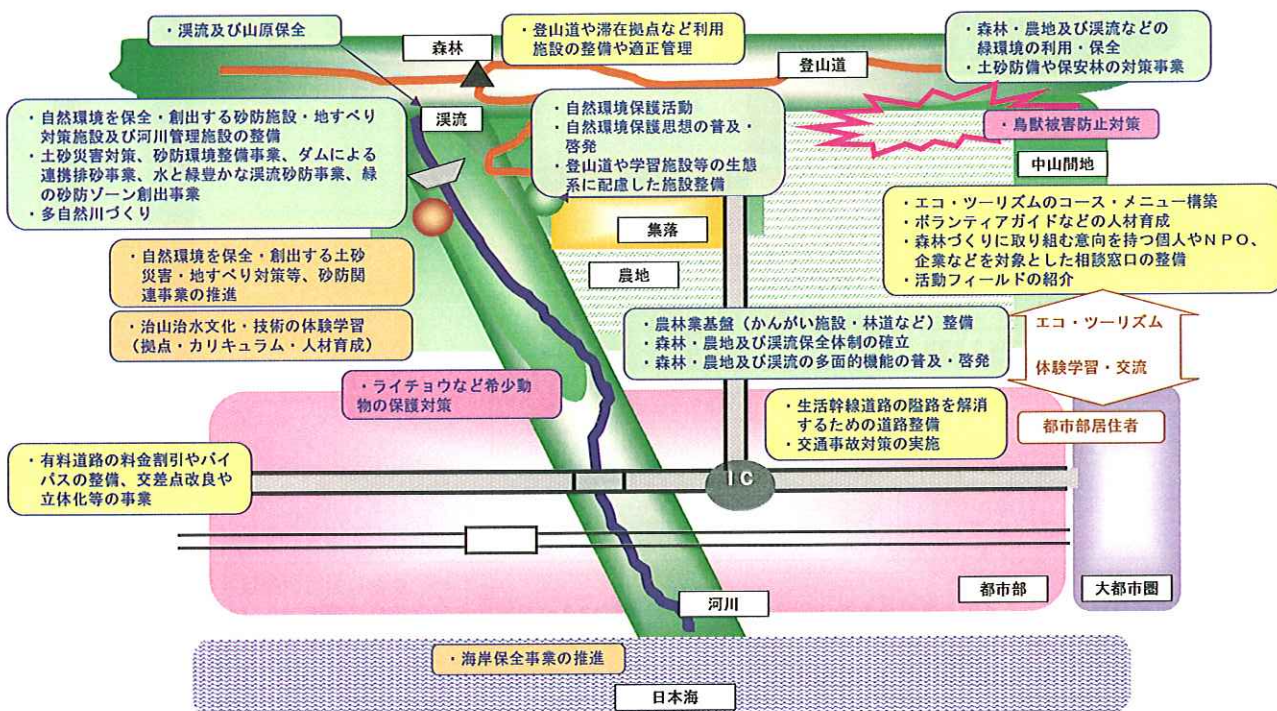
5. 広域連携プロジェクト (1) 日本海沿岸震災対策プロジェクト(仮称)

日本海側沿岸地域での大地震発生時における安全・安心の確保・強化に向けて、活断層の地震や発生時の被害把握などの調査・分析を進め、それに基づいて、日本海沿岸における隣接国域とも連携した震災対策を推進するとともに、震災経験を活かした知見や情報を蓄積し、地域防災体制、広域的な防災支援体制を強化する。



5. 広域連携プロジェクト (2) 立山・黒部、白山など山岳地域の多面的機能保全・活用プロジェクト(仮称)

生態系保全や水資源の醸成など山岳地域の多面的な機能を守り育むため、生物多様性の保全や治山治水に積極的に取り組むとともに、自然環境や防災文化を生かしたエコツーリズムなどの交流創出や砂防フィールドミュージアムの整備により、野生動植物との共生、自然との交流を活用した地域の活性化などにも取り組んでいく。



33

5. 広域連携プロジェクト (3) 日本海沿岸連繋型都市圏形成プロジェクト(仮称)

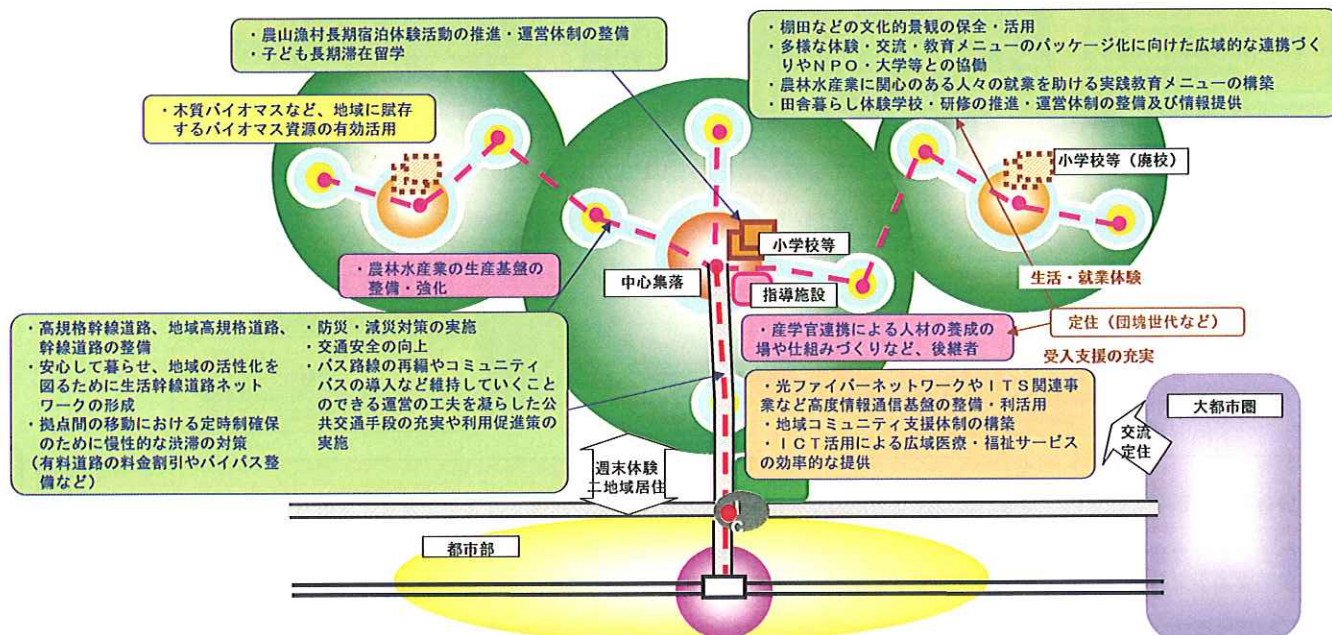
都市と農山漁村が共生する魅力と活力にあふれる連繋型都市圏を形成するため、都市機能や誰もが安心・快適に暮らせる生活環境の充実、地域コミュニティ強化や利便性の向上に向けた都市と都市、都市と農山漁村の交流・連携の強化、都市サービスの提供などICTの多様な利活用を推進する。
省エネ・省資源の普及に取り組むとともに、LRTなどの都市内公共交通機関の利用促進など環境にやさしい交通の実現にも取り組んでいく。



34

5. 広域連携プロジェクト (4) 北陸型農山漁村活性化プロジェクト(仮称)

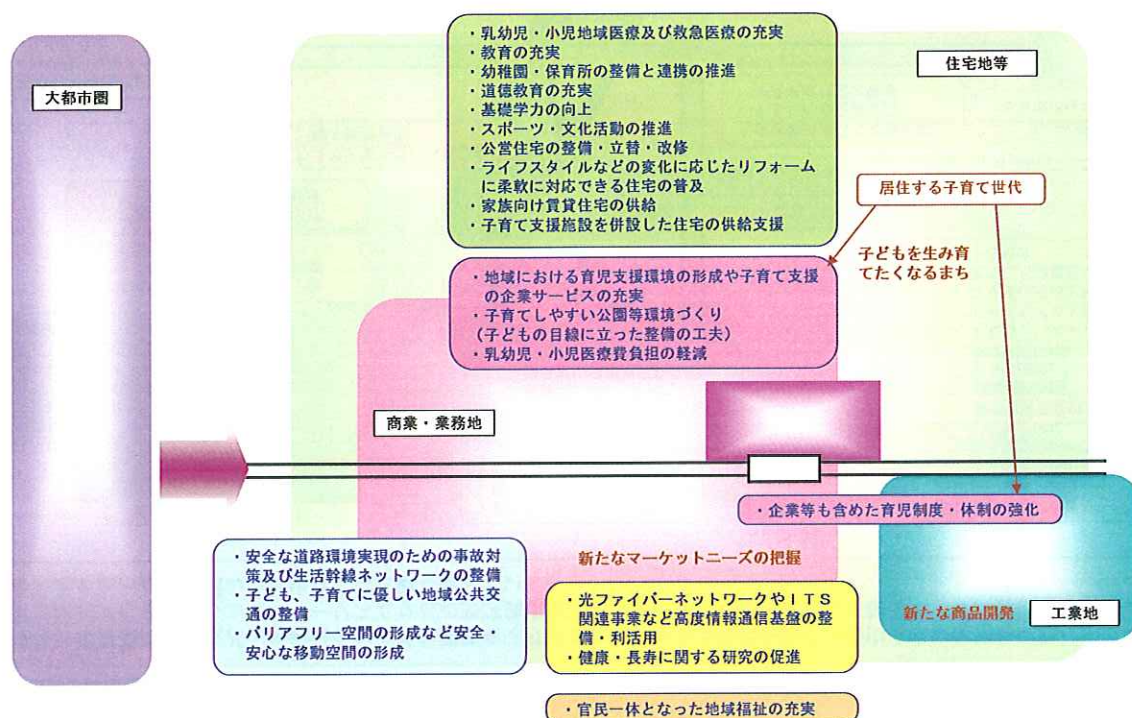
農山漁村における食料供給や国土の保全、集落のコミュニティ機能を維持し地域の活力を向上していくため、環境に配慮した効率的な食料生産のための基盤整備と後継者の育成、医療・福祉、教育、特産品販売や交流の場の提供などへのICTの多様な活用など、人々の安全・安心で、安定した暮らしの確保を図る。
棚田等の地域資源を生かした農業体験などによる北陸圏の拠点都市との交流や、北陸新幹線の開業や東海北陸自動車道の全線開通による三大都市圏との交流を推進するとともに、地域に豊富に賦存するバイオマスなど未利用資源を活用して地域の活性化を図る。



35

5. 広域連携プロジェクト (5) 北陸型子育て支援プロジェクト(仮称)

全国や東アジアへのモデルとなる健康で子育てしやすい、高齢者や障がい者にも優しい圏域を形成するため、子育て支援の拠点施設の拡充、地域や企業等が連携して、子育てしながら働きやすい環境づくりや育児支援の充実を推進するとともに、バリアフリー化や冬季も安心して移動できる空間の確保を図る。



36

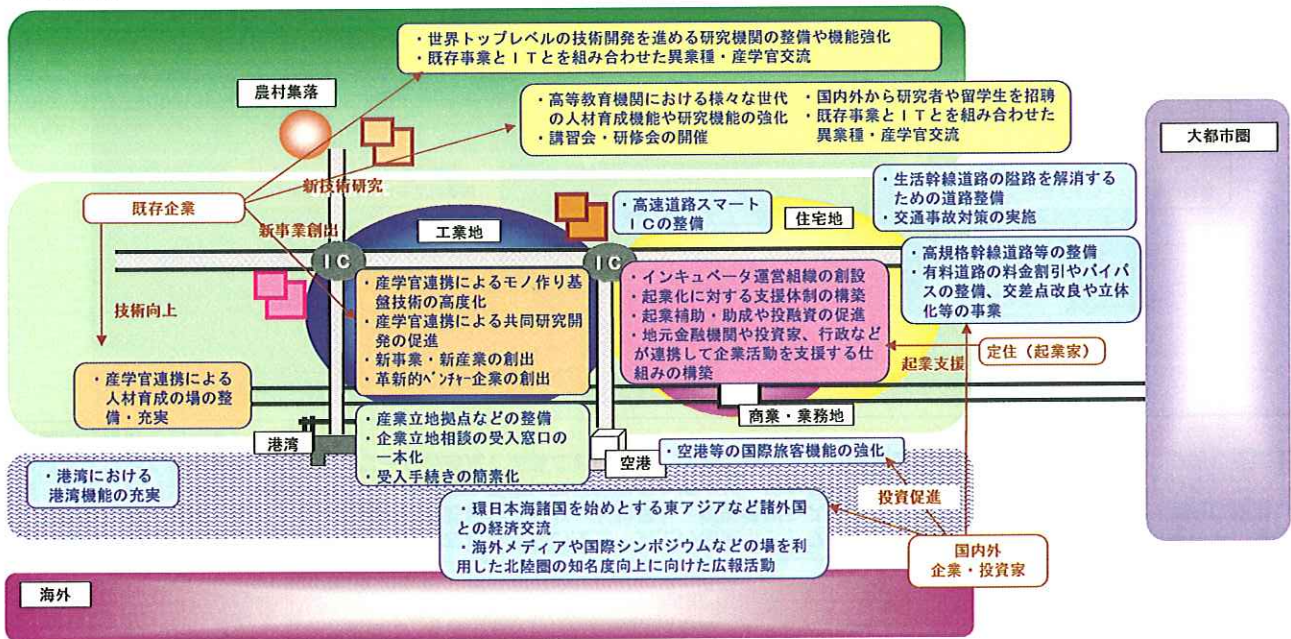
5. 広域連携プロジェクト

(6) 環日本海と三大都市圏との近接性を活かした産業エリア形成プロジェクト(仮称)

ものづくり産業の国際競争力を維持・強化していくため、高度技術を担う人材育成、異分野連携や産学官連携による新事業・新産業の創出、起業の促進、国内外からの研究機関や企業の誘致、諸外国との経済交流の促進など、地域産業の国際競争力の強化に向けた取組を推進する。

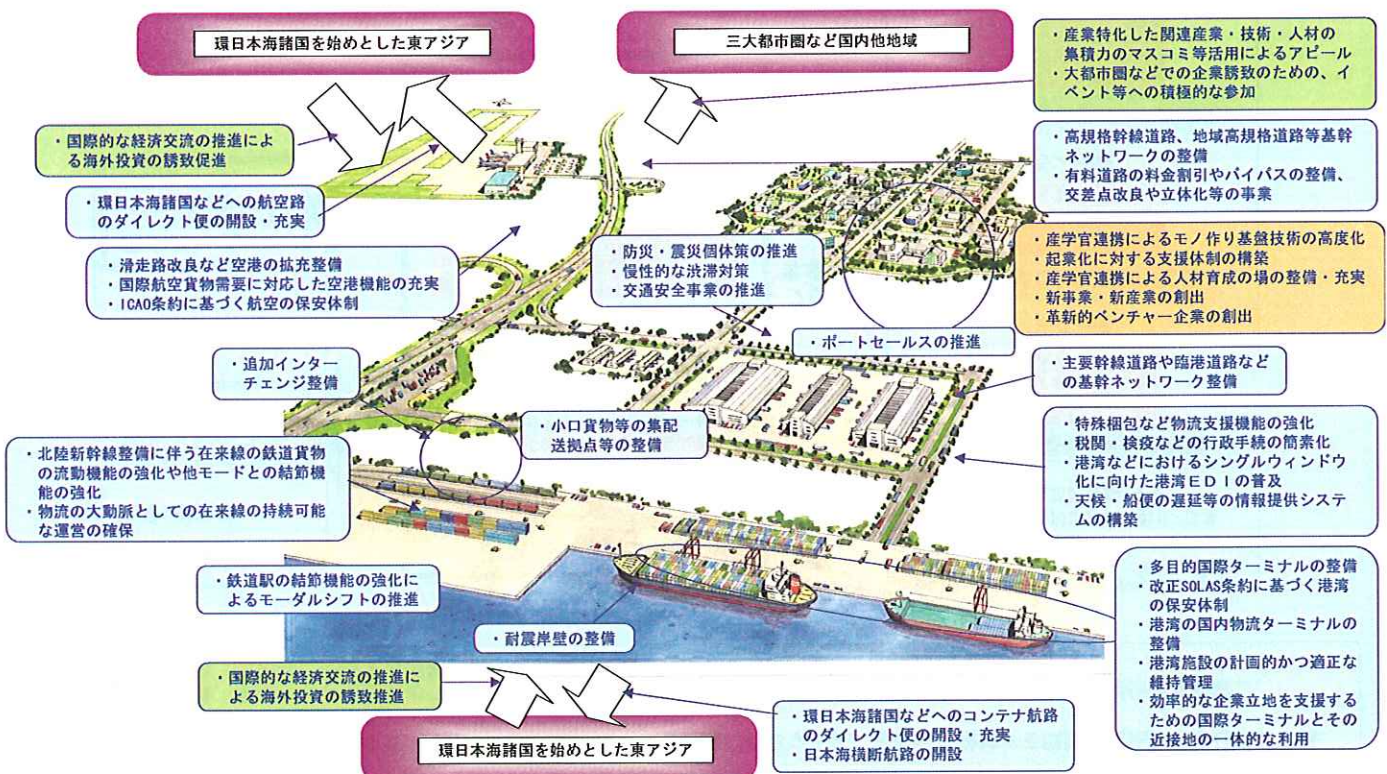
環日本海経済圏の物流拠点を形成していくため、隣接圏域とも連携し、日本海諸港の連携した経済交流やポートセールスなどを進めるとともに、太平洋側との相互補完も意識した、環日本海諸国をはじめとする東アジアなど諸外国や三大都市圏、隣接県、圏域内に展開する、信頼性や定時性、シームレス性の高い国際・国内物流拠点・ネットワークを構築する。

<物流系>



37

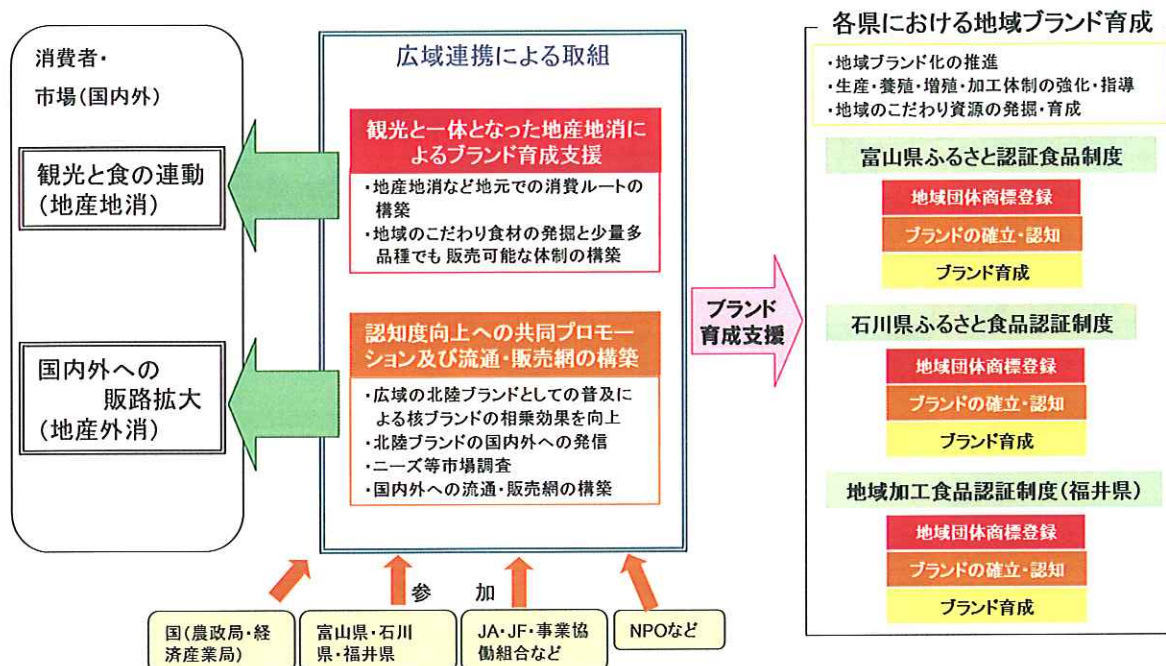
<産業系>



38

5. 広域連携プロジェクト (7) 食の北陸ブランド展開プロジェクト(仮称)

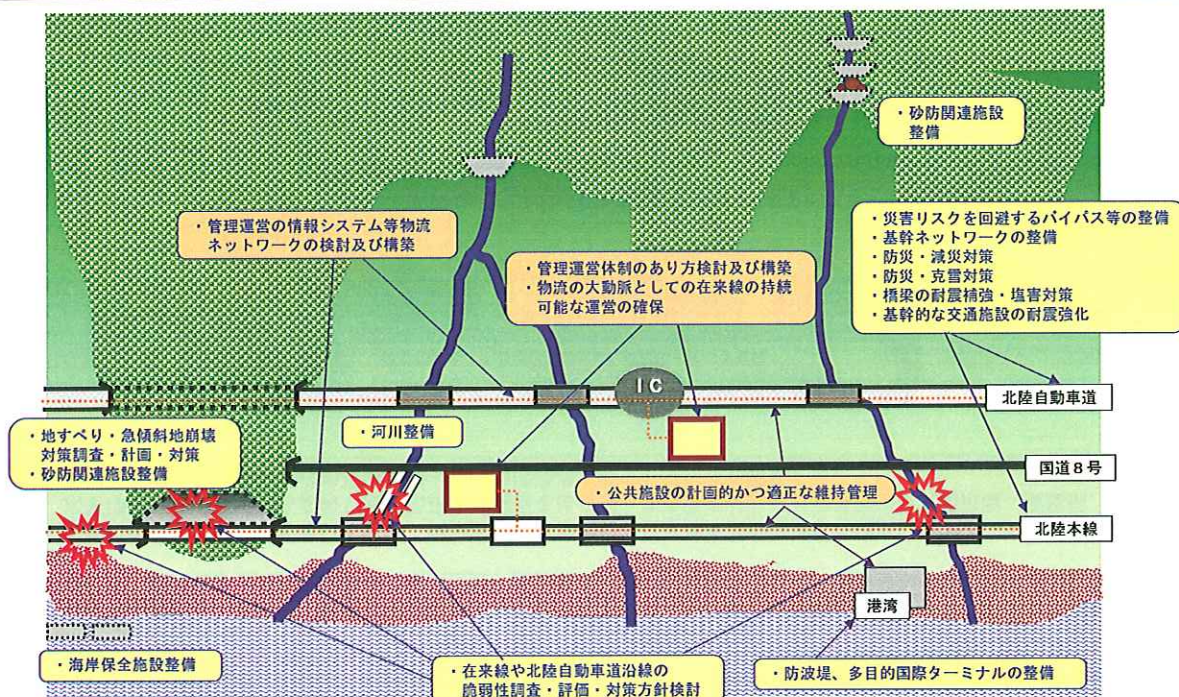
豊かで多様な農林水産資源やそれら資源を用いた食文化を活かして、国内のみならず、富裕層の増加する環日本海諸国をはじめとする東アジアなど諸外国への輸出産業として食関連産業を強化していく。
消費者に嗜好され、信頼される高品質の「北陸ブランド」を構築し、知名度を高めていくとともに、安定した生産体制を構築し、地産地消をはじめ、国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充を促進する。



39

5. 広域連携プロジェクト (8) 日本海沿岸物流基盤信頼性向上プロジェクト(仮称)

洪水、土砂災害、降雪などの自然災害や天候に左右されない陸上・海上の物流ネットワークの構築に向け、隣接圏域とも連携して、水害・土砂災害対策、津波・高潮・侵食対策、克雪対策などのハード対策と、防災情報システムなどのソフト対策を一体的、計画的に推進し、鉄道、空港、港湾、海岸、道路の安定的、持続的な運営に取り組むことにより、日本海沿岸の物流基盤の信頼性を向上していく。
他の圏域を含めた日本海側のネットワークの形成を図ることにより、太平洋側での大規模災害時の代替物流機能を担い、安定した国土の物流基盤整備を進める。



40

5. 広域連携プロジェクト

北陸新幹線の開業や東海北陸自動車道の全線開通など広域交通ネットワークの進展を最大限活用し、回遊性を高める観光地間の交通ネットワークの整備・強化や観光地間の連携により広域観光ルートを構築する。

北陸3県全体での官民一体となった国内外への観光プロモーションやMICE（会議、企業の奨励旅行、見本市、研修）分野の強化などを推進する。



5. 広域連携プロジェクト (10) 日本海海洋環境保全プロジェクト(仮称)

日本海・日本海沿岸地域の良好な環境や安全の確保を目的として、日本海の水産資源の保護、日本海沿岸環境の保全、漂着ゴミや大気汚染、地球温暖化などの環境問題の解消、航路の安全確保に取り組んでいく。

エネルギー供給基地としての機能の維持及び地球温暖化防止への貢献を目的として、省エネ・省資源の普及に取り組むとともに、それら技術の普及に、国際貢献として取り組んでいく。

掛エフエム石川が開局5周年記念
キャンペーンとして提唱、関係機

関・団体とともに95年1月17日に実行委員会を設立。当初、海に面した8市17町でスタート。96年からは41市町村参加の県民運動。毎年約10万人のボランティア参加がある。

1. 美しい石川の渚を取り戻し、白砂青松を蘇らせる基盤づくり。

2. 野鳥や海の生き物を残酷な被害から守る海の環境・ルールづくり
3. 沿岸漁業資源の回復に良好な豊かな海づくり

100 - 1000 元

1

7



100

- ・日本海の環境に関する幅広いデータの収集・監視
- ・北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)をはじめ日本、中国、韓国及びロシアの沿岸自治体、NGOなどとの連携・協力による海洋環境のモニタリングや海洋環境保全のための対策
- ・海洋環境保護対策の推進（漂着ゴミや油流出等への対策）
- ・海水を利用した温度差エネルギーなど未利用エネルギーの導入
- ・地球温暖化防止の研究拠点整備

- ・酸性雨や黄砂などの国際的な連携によるモニタリングなどに対する連携強化
- ・国際環境協力に資する研修・交流・人材育成プログラム

[illegible]

- ・海象情報の提供
- ・天候や海象等情報提供による漁業等活動による事故等の回避

経済発展による
大気汚染

- ・防波堤等の整備
- ・避難港等の整備

- ・漂着・漂流ゴミの発生源対策や効率のかつ効果的な処理・清掃方法の検討
- ・総合的な流木対策の推進

など、事故後の迅速な対応を可能とする体制づくり

- ・日本海の環境に関するデータの収集・監視
- ・北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)に基づく日本、中国、韓国及びロシアの沿岸自治体、NGOなどとの連携・協力による海洋環境のモニタリングや海洋環境保全のための研究

漂着物調査・漂着ゴミの清掃